

## 2 学力向上アクションプラン

横浜市立南台小学校

令和2年度 学力向上アクションプラン

### 1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
スマイル&チャレンジ! みんなつながる南台	自分づくりに関する力 チャレンジできる行動力 人とつながる力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりにしっかりと寄り添いながら、まちとともに歩む学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかる楽しさ、できる喜びを感じられる授業づくりを進め、主体的に学んだり、考えを深めたりする力を伸ばします。</li> <li>・一人ひとりが自尊感情を高め、お互いを大切にしながら楽しく学校生活が送れるようにします。</li> <li>・健康な心身をつくるための生活習慣が形成できるようにします。</li> <li>・まちの人とのつながりを意識し、豊かなコミュニケーションや体験活動を通して、まちを愛する心を育てます。</li> </ul>

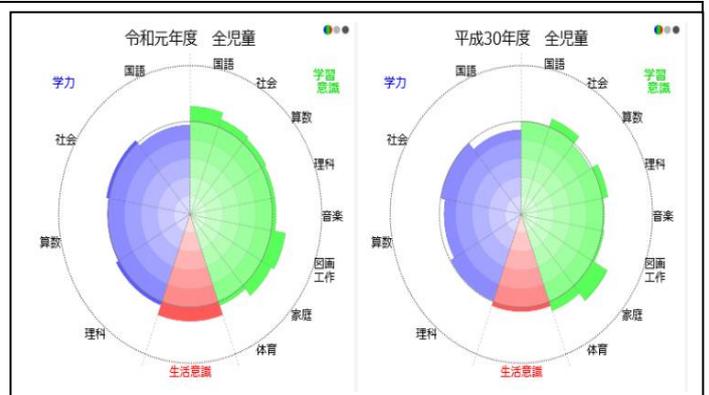
(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①朝モジュール学習やチームティーチング、少人数授業等を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図る。②生活科、総合的な学習の時間を中心に重点研究に取り組み、主体的に問題解決していく力を育成する。③学校行事を見直し、各活動で育てたい力を系統的に考えた年間計画を作成する。
担当 研究研修、教育課程	

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

(1) 学力の概要と要因の分析

学力について、市の平均を越えている学年は、現2年と現5年、他学年は市の平均未満である。30年度と比較し、全校としての結果は、全体的に伸びが認められた。生活意識や学習意識に関しては、どの学年においても、概ね市の平均値を上回っており、30年度と比較しても伸びがみられた。特に現3年の伸びが顕著であった。そのため学習に対する意義や必要感をもたせ、達成感や満足感を体験させて自己実現へとつなげていくことから始め、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図るようにしたい。今後も算数科を中心とした個に応じた指導や各教科における総合的、横断的な学習も必要であると考え。



(2) 教科学習の状況

- 国語科：標準化得点は98.3～101.7 多くの学年で話す・聞くはおおむね良好。知識・理解・技能が課題。
- 算数科：標準化得点は98.8～100.8 多くの学年で技能はおおむね良好。数学的思考方が課題。
- 社会科：標準化得点は99.2～102.2 多くの学年で知識・理解は良好。技能が課題。
- 理科：標準化得点は99.4～101.5 多くの学年で技能が良好。知識・理解が課題。

(3) 経年変化の状況と要因の分析 (学習意識・生活意識調査も含めて分析)

学校全体としては、学力においては、昨年度までより上向いている傾向にあり、学習意識や生活意識に関しても、全体的に高まってきている。現2年生は、すべての項目で平均を上回っている。現5年生も、ほとんどの項目で平均を上回った。他学年は平均に満たない教科もあるが、どの学年も上回る項目があった。社会科、理科は昨年度に続いて市平均と同等もしくは上回る結果となっている。国語科の「知識・理解・技能」、算数科の「数学的な考え方」などにおいて課題が見られるため、朝学習や授業の演習を更に充実させ、基礎的基本的な力を養っていくとともに、言語活動を重視した授業改善によって改善を図りたい。

### 3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<b>自分の思い・自己表現</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好奇心</li> <li>・想像力</li> <li>・ルールを守る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の聞き方を身に付け、分からないこと、詳しく知りたいことを尋ねたり気持ちを表情や態度、言葉で表したりしながら対話できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科等で、説明する文章、紹介する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、できる限り対話をする場面を位置づける。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・善悪の判断を身につける</li> <li>・所属集団への愛着心</li> <li>・周囲の役に立とうとする気持ち</li> <li>・家族や友人との関わりを求める気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科等で、報告する文章や説明する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに基礎的な言語能力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えを述べたり、相手の考えについて自分の考えとの共通点や相違点を考えながら聞いたりできるようにする。</li> </ul>
3年	<b>自分らしさ・他社意識</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもち、表現する力</li> <li>・自分の特性を知り、他を知ろうとする姿勢</li> <li>・基本的なコミュニケーション能力</li> <li>・経験を学びにつなげる姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科のまちたんけんや総合的な学習の時間等で、見学・調査したことを分かりやすく説明する文章や記録する文章を書くなど表現活動を大切にするとともに、相手意識をもって伝えたり話し合ったりする場面を位置付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合い活動において、相手の話をしっかり聞き、自分の考えと比べながら内容に沿って理由や根拠を尋ねたり、付け加えたりまとめたりして話し合うことができるようにする。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって、自力で解決しようとする態度</li> <li>・相手の気持ちを想像する力</li> <li>・自分らしさを大切にしようとする姿勢</li> <li>・自分と異なる考えを尊重し共に成長する力</li> <li>・振り返りの習慣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科、理科等とも関連付けて、説明する文章、記録、報告する文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに話し合う場面を位置付ける。</li> <li>・体育科で、集団的活動の中で互いの考えを出し合って作戦を立てたり、表現運動で考えを伝えあってグループで作品を作ったりするなどの活動を通してコミュニケーション能力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの考えのよさに気付き、認め合いながら、目的や意図に応じて話し合ったり伝え合ったりできるようにする。</li> <li>・順序付けたり関連付けたりして考え、学習を計画的に行えるようにする。</li> </ul>
5年	<b>協力・協働・主体</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力して課題を解決しようとする態度</li> <li>・やりとげる力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科、総合的な学習等で説明する文章、意見を述べる文章を書くなど、表現活動を大切にするとともに、話し合いをする場面を位置付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を一般化したり、経験を加えて拡張したりしながら話し合うことができるようにする。</li> <li>・関連付けたり、分類・整理したりして考える学習と振り返りを行う場を設定する。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の一員であるという意識</li> <li>・自分の思いを言葉にする表現力</li> <li>・人との関わりに喜びを感じる気持ち</li> <li>・自己を表現する力</li> <li>・課題を見出す力</li> <li>・向上心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科、総合的な学習等で日常生活に必要なとされる記録、説明や報告、紹介、感想、討論などの言語活動を行う能力を身に付けることができるよう継続的に指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本や文章などを読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする場を設定する。</li> <li>・相手意識や目的、場等を考え、根拠を明確にししながら、自分の考えを表現したり、計画的に話し合ったりして学習を進められるようにする。</li> </ul>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> <li>・基本的な生活習慣をつくる態度</li> <li>・善悪の判断を身につける</li> <li>・基本的なコミュニケーション能力</li> <li>・家族や友人との関わりを求める気持ち</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、話し言葉、表情、仕草、書き言葉等発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を積極的に活用する場面を設けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階に応じて各学年の取組を参考にし必要な取組を行うようにする。</li> <li>・個に応じた分かりやすい情報発信をするなど言語環境の整備を行う。</li> </ul>